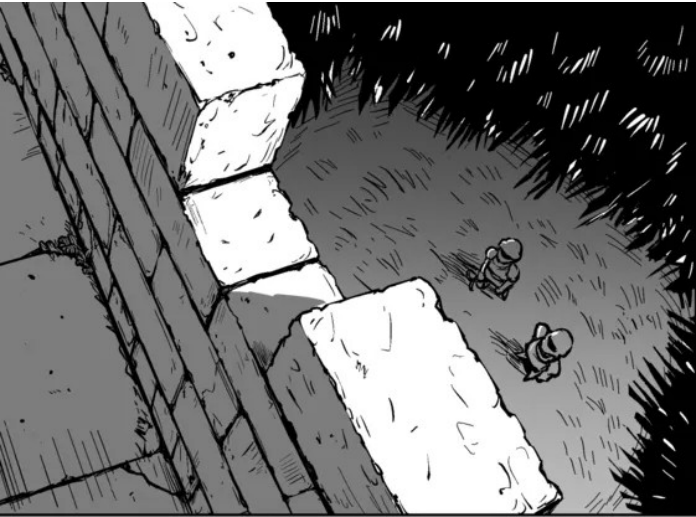
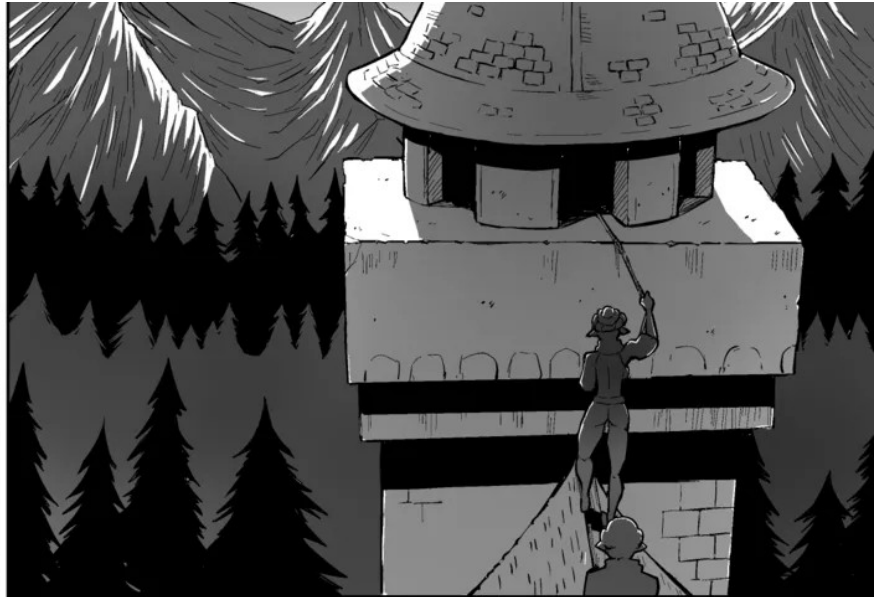
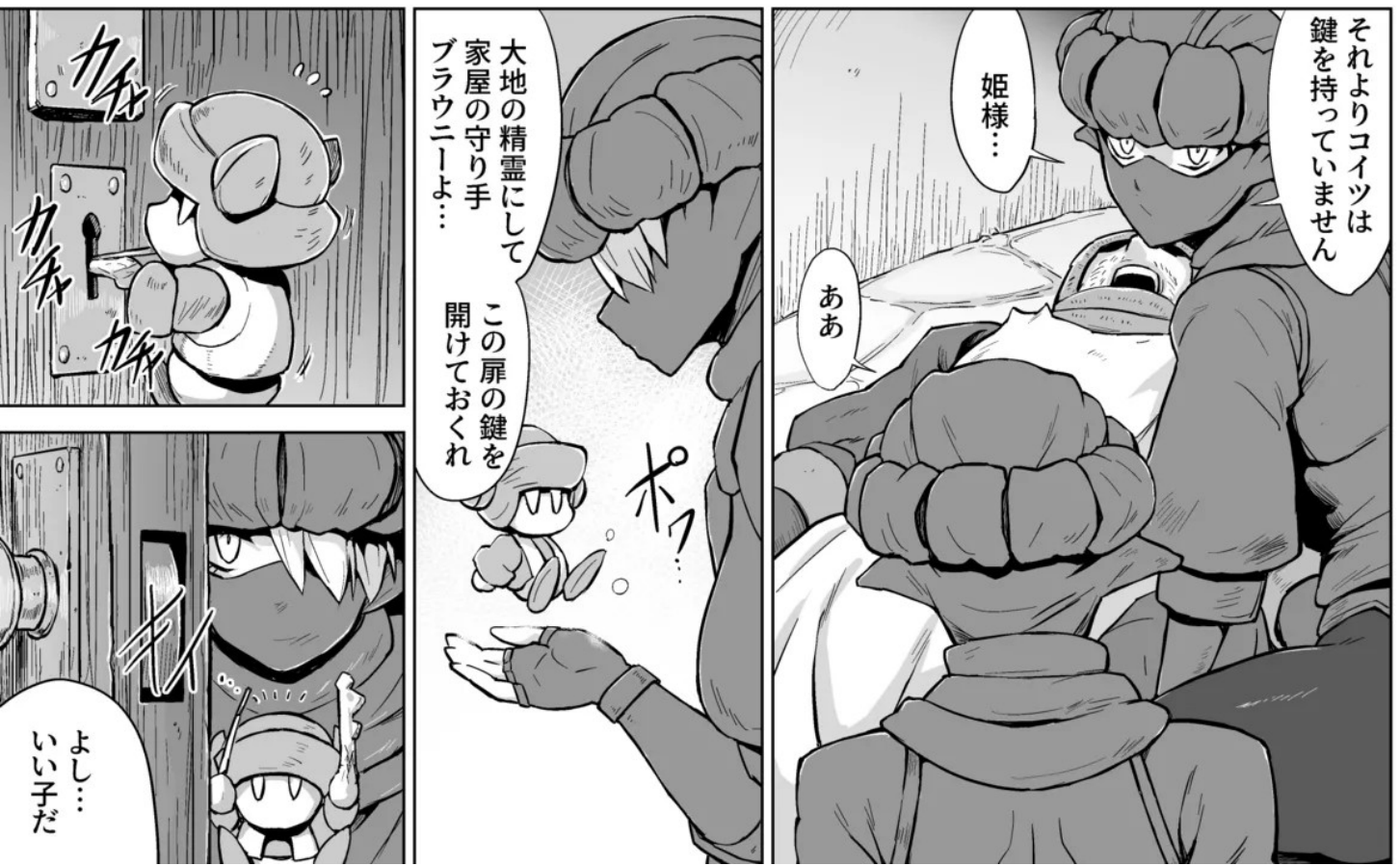










あまり精霊に
こんな事を
させたくなかったが…

長老を
救い出すためです

精霊をあんなに
高度に使役出来るのは
姫様だけですし…

この部屋に
捕らわれて
いるはずなの
ですが…

いた！

あら…

どなた
ですか？

いつもと
違うお方ですね

今宵は
貴方のお相手を？

は…母上…

い…いや
長老！

我々は
そのような者では
ありません！

なんと
いう
破廉恥な
服を…

おのれ
人間め…



大きくなりましたね

まあ…
レギーナ…
思い出しました



あなたの娘です

そして
私は…



私の名は
レギーナ

この者は
アイリ

我々はあなたが
かつて治めていた
「翡翠の森」のエルフ…



すぐにここから
脱出しましょう！

とにかく貴方は
こんな所に居るべき
ではありません



150年前
人間達に森が襲われた時
攫われてしまった貴方を
救出しに来ました

族長からは危険だと
止められたのですが

私は納得出来ず
従者のアイリを
連れて強引に…



そうは
いかな！



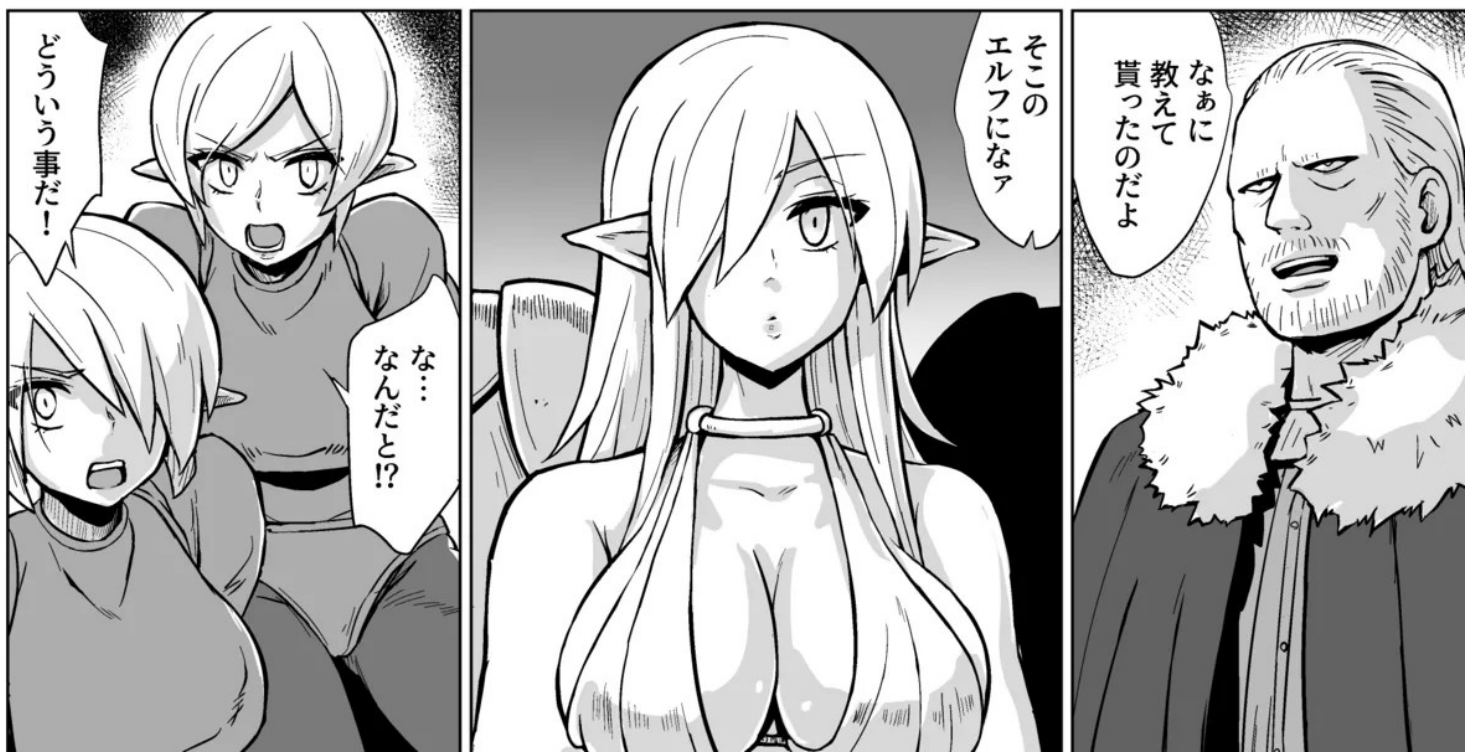
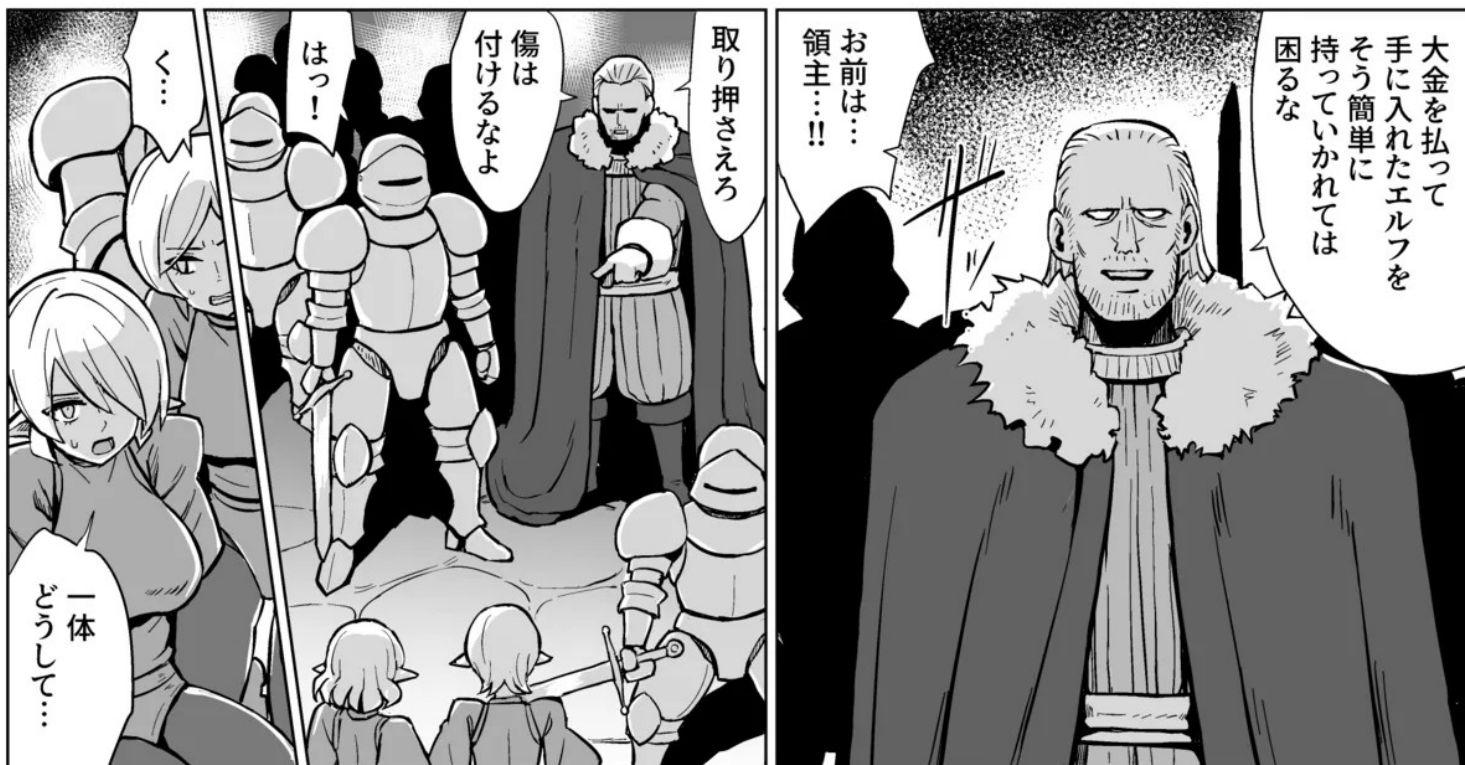
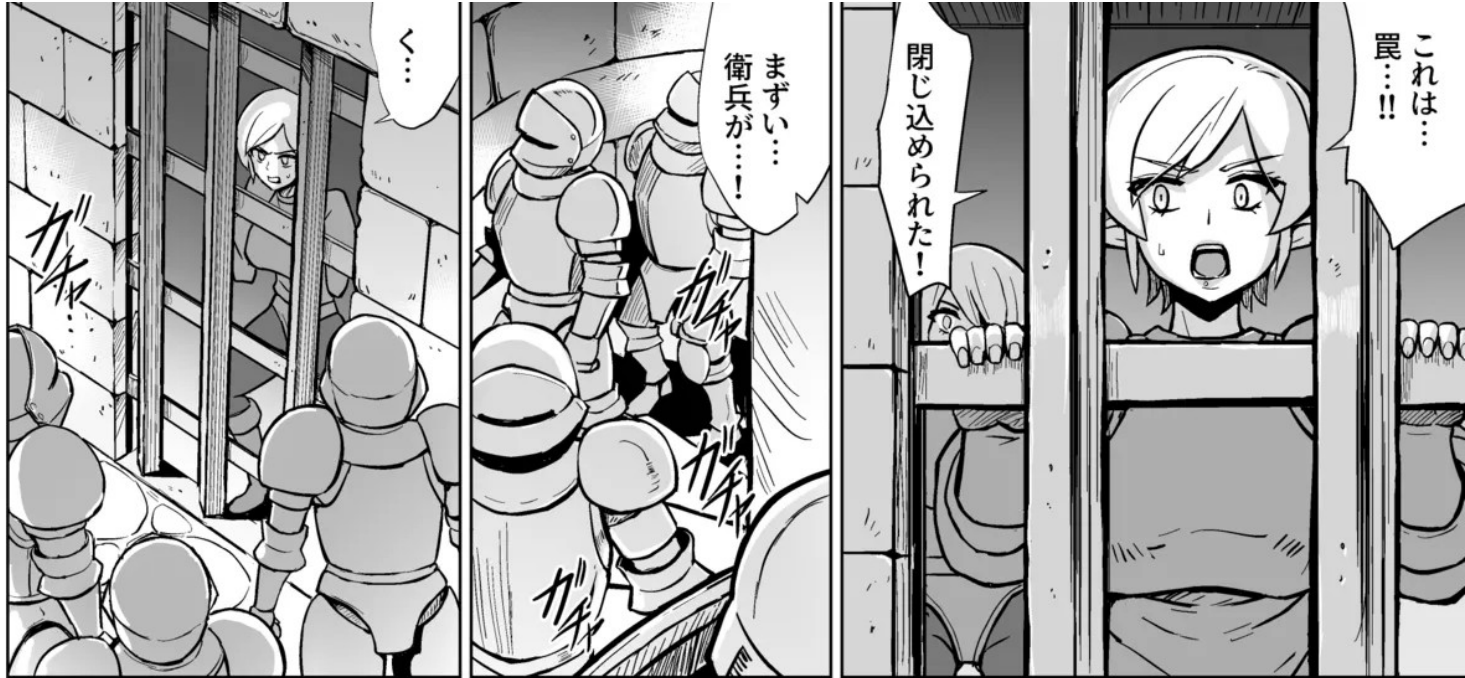
近くの川が
出口になっていて
そこに仲間を
待機させてます

馬を連れて
見張らせてますので
それに乗って逃げましょう

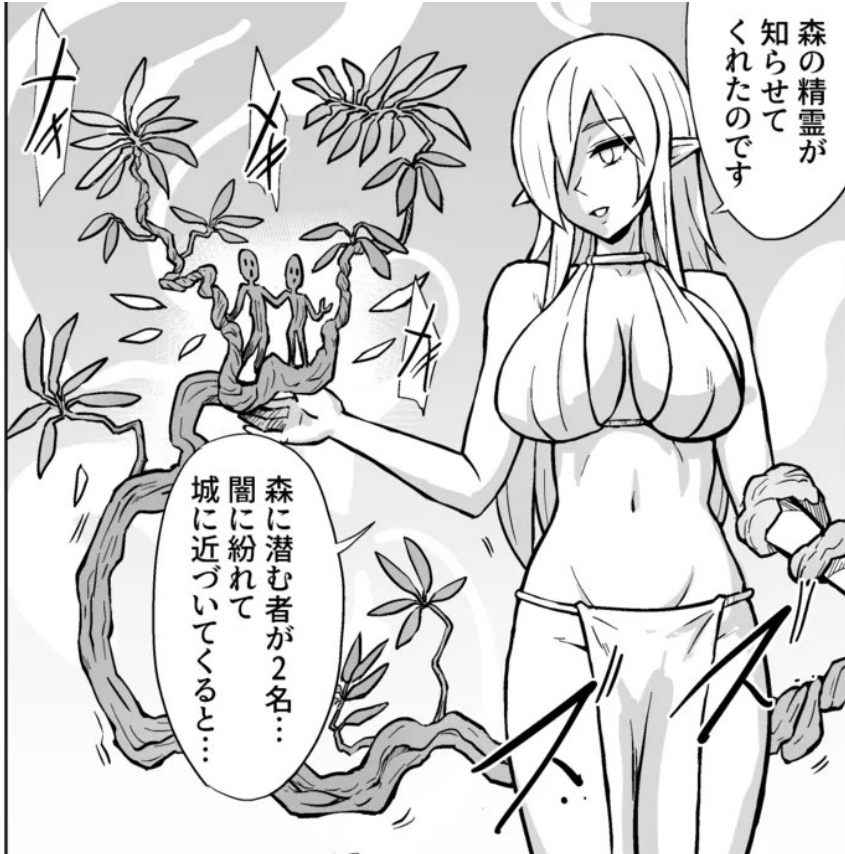


塔の地下に
外へ通じる
隠し通路があります

外からは
封鎖されていましたが
内側からなら
開けられるはず



森の精霊が
知らせて
くれたのです



森に潜む者が2名…
闇に紛れて
城に近づいてくると…

そ…それは
「遠視」の魔法！

森の大精霊を
使役する
高等精霊魔術…!!

コイツはしょっちゅう賊共に
狙われるから俺の命令で
見張らせてたんだ



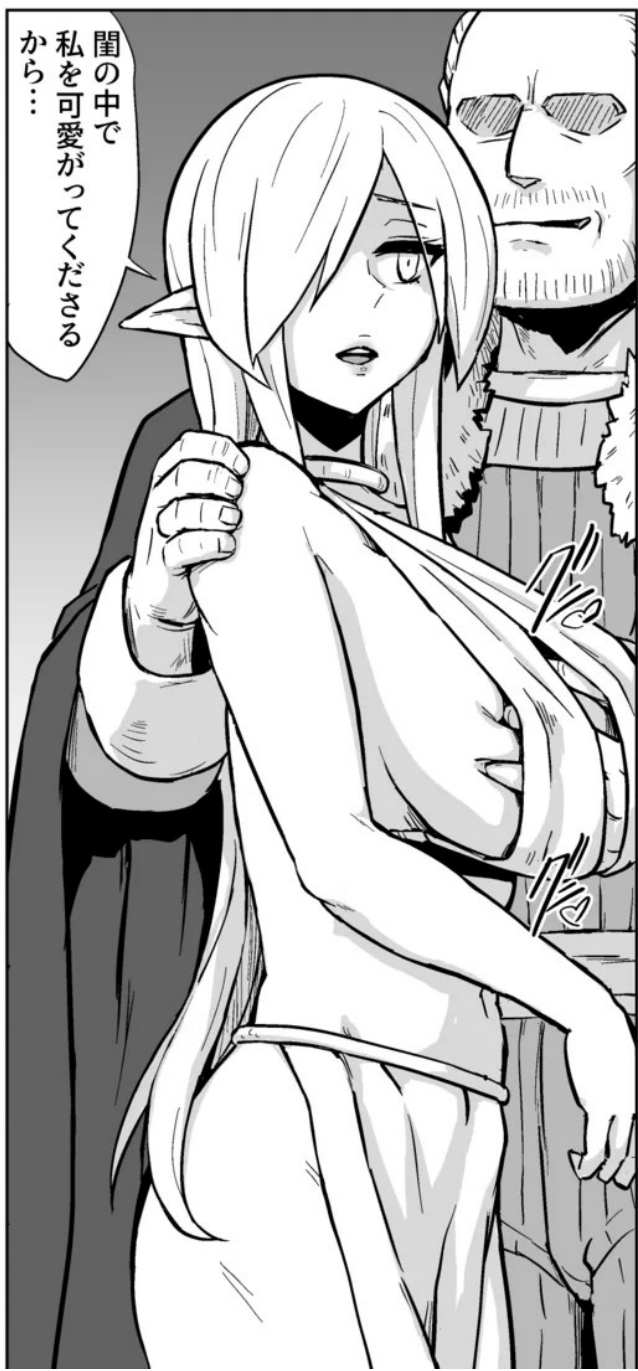
ククク…
ツいてるぜ

あなたは人間共に
拉致されたのに…

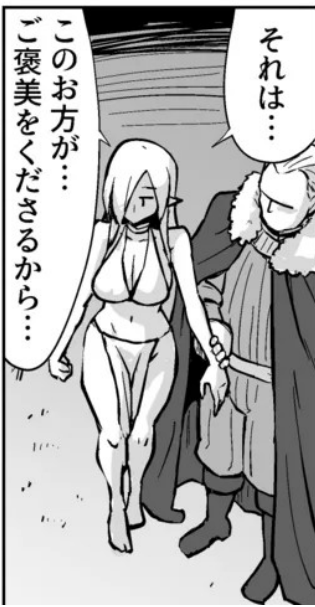


なぜ
こんな人間などに
力を貸すのです!!

闇の中で
私を可愛がってくださる
から…



それは…



このお方が…
ご褒美をくださるから…

ククク…
エルフってヤツは
肉体的な快感に
極端に弱いらしい



この女も
歴代の飼い主に調教されて
今ではチンポのためなら
何でもいう事を聞く
快楽狂いの淫乱ビッチだぜ

俺が買った時にはもう
コイツは立派な
変態肉奴隷だったぜ

どんな宝飾品よりも
高い買値物だったかな

ば…
バカな…!!

ククク…
信じられんか
まあいい

お前達も
すぐに理解出来る

さて領主から
盗みを働いた者は死罪と
決まってるのだが…

お前達は
特別にカラダで
償わせてやる

コイツらは
新しい
肉奴隷だ
売り物になるまで
お前らが調教しとけ

だがくれぐれも
傷は付けるなよ
もし付けたら
貴様らが死刑だ

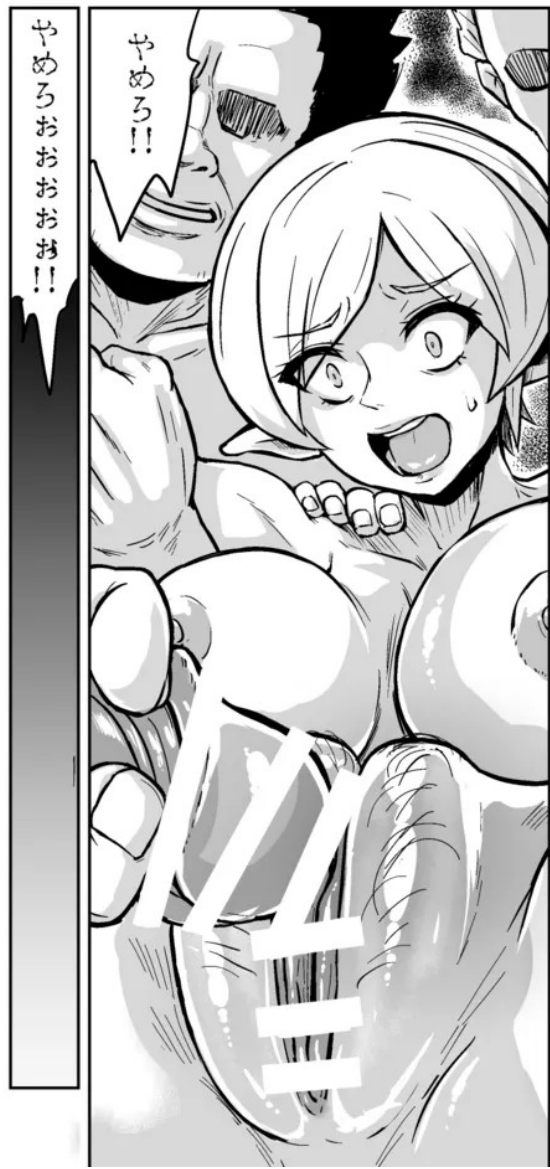
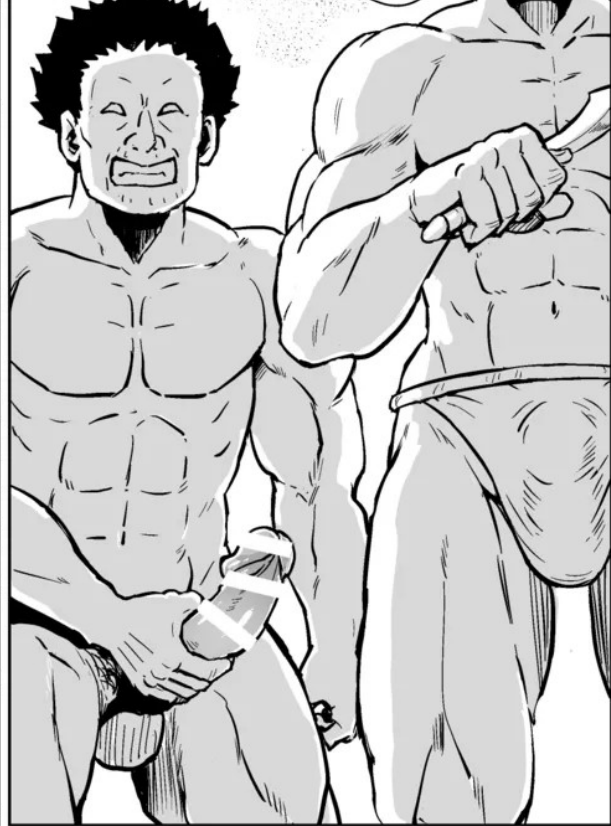
分かって
ますって

大事に
可愛がってやるぜ
ゲヘヘ…



エルフの癖に
デケエ乳してる
じゃねえか

俺のチンポ程
じゃねえがな
ぐひやひや









お高くとまってんじゃ
ねえぞ!!

エルフの姫様だか
何だか知らねえが
立場ってモンを
分からせてやるぜ!!

ぐっ...



ひっ...

あッ...
あッあッ





あッ...
あうう...

あああ...

が

が

おちか

コン

おちか

へへへへへ
イイ声で
鳴くじゃねえか

ふあ...



ひっひっひ
ありやべろ突っ込んで
涎を流し込んでんぜ

きったねえ
マーキングすんじゃねえ
バカヤロー



チンポ啜え込んだ腰が
ヒクヒク震えてんぞ!
このスケベエルフめ!!

さっさと代われ!
次は俺のチンポを
ぶち込んでやる!



ぐひひ…
テメエは
俺が落としてやるぜ

く…
姫様ツ…

や…
やめ…ッ

オラオラ
どうだ俺様の
チンポは！

エルフの租チンとは
比ベモンに
ならねえだろう！！

く…
くそッ！！
は…
離せ！！

その汚い
ペニスを
抜けええ！！





溜まりに溜まった
特濃ザーメンを
たっぷりとなあ!



ハッ

ハッ

ハッ

ザーマン塗れで
すげえ臭いだぜ

まだまだ
足りねえぞ

エルフは中々
妊娠しねえからな

ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ!!

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

領主様は
母乳滴る
エルフの経産婦が
お望みらしいぜ

へっ
いい趣味してンねえ





見ろよコイツの
エロいツラ！

すっかりマンコ
ぐちよぐちよにして
イキまくってんぜ！！

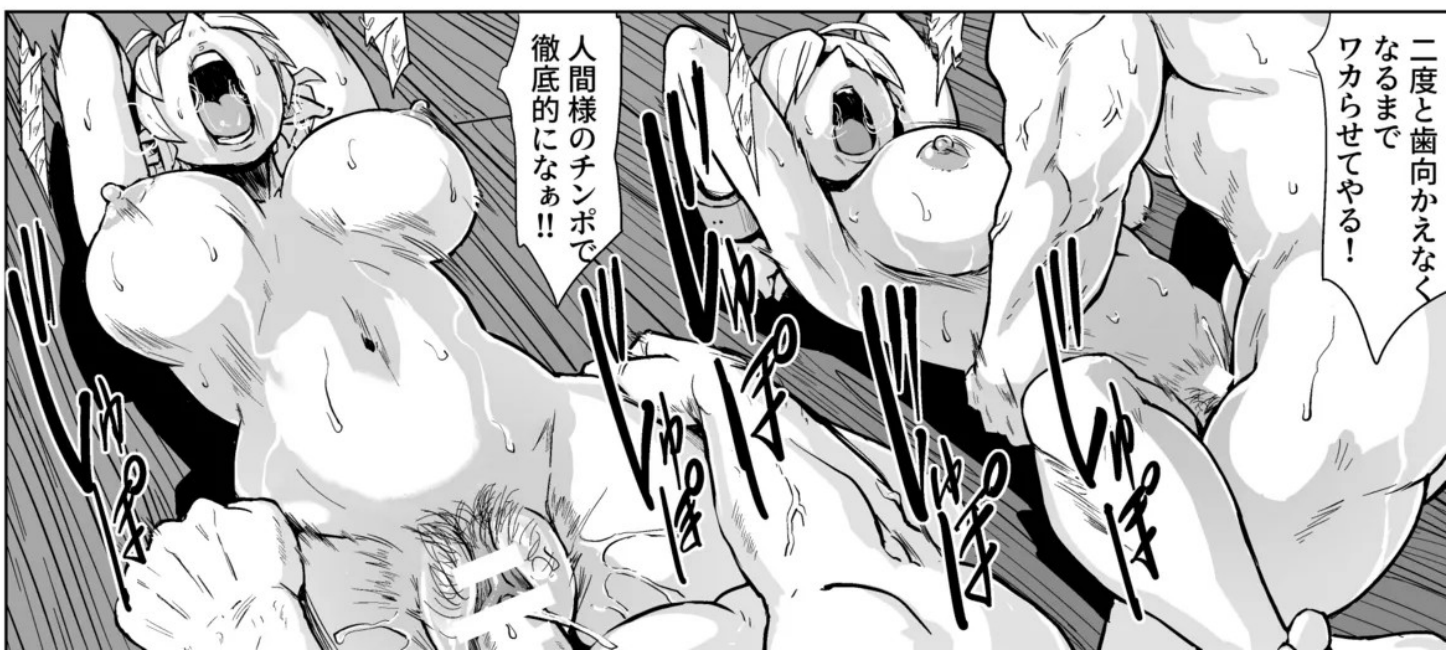
領主様の言った通りの
ドスケベマンコだな！

てめえらエルフは
無様な肉穴になるのが
お似合いだぜ！！

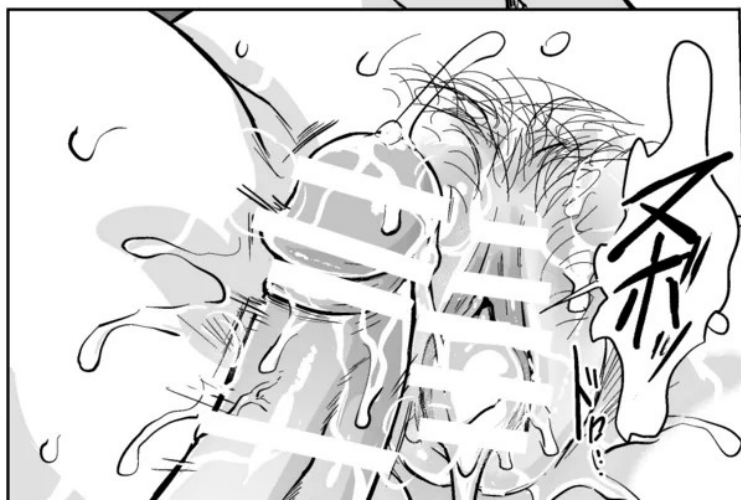


二度と歯向かえなく
なるまで
ワカらせてやる！

人間様のチンポで
徹底的になあ！！









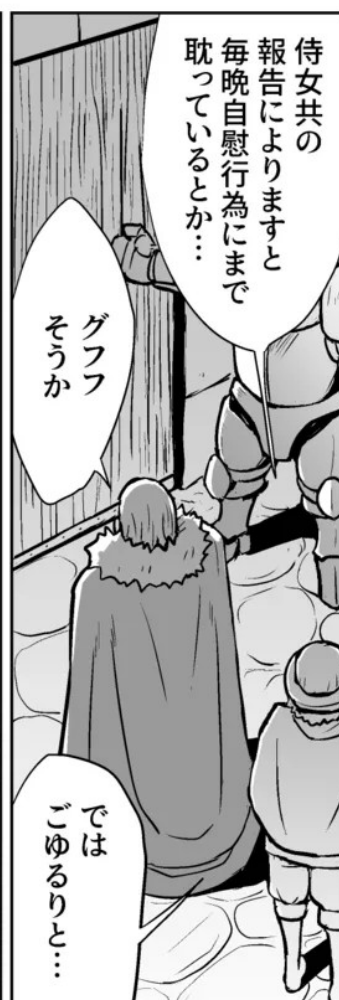
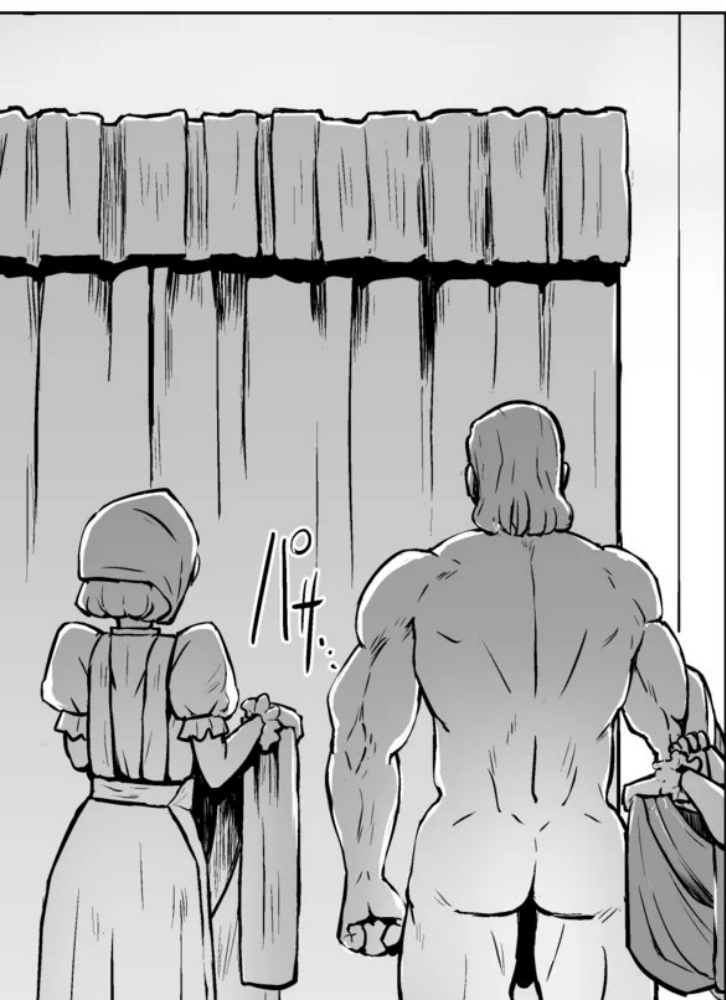
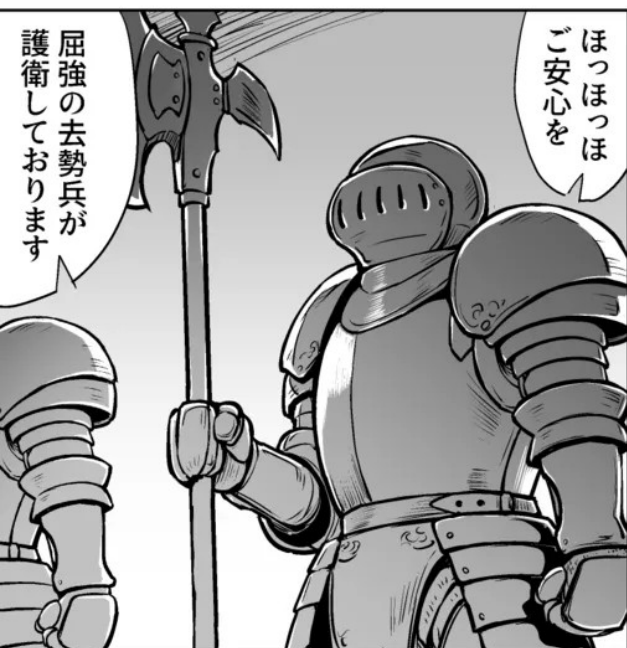
そして
二人のエルフは
凄惨な凌辱の果てに
妊娠した――

エルフ達の
受精率は
極めて低いにも
関わらず――

その年の内に
二人の混血エルフを
出産した……

それから
月日が流れ――









さあ
抱いてやるぞ
エルフ共



グフフ：
子育ての時間は
終わりだ

これからは
子作りの時間だ



まずは
貴様からだ

ああ…
ああ…



んむ…

はむ…



俺は
戦帰りで
昂っている

丁寧に心を込めて
奉仕しろ



ん…
はあっ♡

お…
大きくて

遅しい…

あなたの
ペニス…

何度も
妊娠させられた
私の子宮が…

新たな子種を求めて
疼いておりますッ

どうか存分に
射精してくださいませッ







そ…
注いでくれ!!

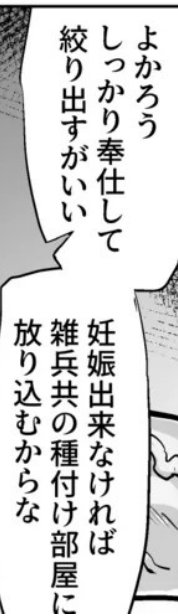
赤ちゃん…
いっぱい
産むからッ

何百回でも
射精してくれッ

き…
き…来たッ♥
い…ん…
イクイクッ♥











性器から
伝わって来る…
胎を貫くような
生命力…!!







ああ…♡

あ…♡

おはあ…♡

は…♡

れろ
れろ

れろ
れろ

ぱん

あ
あ
あ

狂宴は永遠に続いた



エルフ達はやがて
言葉も途絶え

ただひたすらに
ペニスを食べ続けた









ああッ♥

ああッ♥

きやあああああ
ああああッ♥



人間の欲望に
飲み込まれた
美しきエルフ達

彼女達の唄は
果てしなく続く――

